

7 月 11 日(木)12:00 からスタジオ CRT で収録

学校教科書を用いて、予習・授業を受講・復習・定着を行い、深い理解を目指そう。深い理解とは、
学んだことを、自分のことばでいえる、表現・説明できること！！

開倫塾
塾長 林 明夫

Q 「予習」「授業」「復習」「定着」は、なぜ必要なのですか。

A 「予習」をし、「授業」を受け、「復習」を行い、「定着」させるのは、学んだことを「深く理解」するためと、考えます。

Q 「深く理解」する、「深い理解」とは何ですか。

A 「深い理解」とは、「学んだことを、自分のことばでいえること。表現・説明できること」と考えます。「予習」は、「深い理解」の第一歩です。

Q 「深い理解」の第一歩として、「予習」はどのように行えばよいのですか。

A (1)「予習」としては、「学校教科書」を用いて、これから学ぶところ、この次の授業で学ぶところを、予め目を通す。
(2)「すべての教科の教科書を、手に持ち、大きな声を出して、ゆっくり、一語一語、読んでみることを」おすすめします。
(3)読んでいて、意味がよくわからない語句があったら、「気持ちが悪い」と考え、「辞書」を用いて、調べることをおすすめします。
(4)「スマホ」や「電子辞書」よりは、「紙の辞書」をおすすめします。
「辞書」で調べた内容は、「意味調べノート」や「教科書」に書き写すこともお忘れなく。
(5)計算や問題は、ノートに問題も書き写し、ノートに解いてみることを。
(6)わからない計算や問題は、学校の授業でしっかり正解をお聴きしましょう。
(7)「よくわからないことは何かをはっきりさせてから、授業に臨む」。
そのために、「予習」を行うことが、「深い理解」を得る第一歩です。

Q 授業はどのように受けると「深い理解」を得ることができるとお考えですか。

A (1)「授業」は、「深い理解」の第二歩です。
(2)遅刻、欠席、早退をしない。おしゃべり、居眠りをしない。スマホなどをいじらないこと。
なぜなら授業の場にいなかったり、いても、他のことをしていると、「理解」につながりませんからです。
(3)手を机の上に置き、先生の目と口元をしっかりと見て、授業に集中。
(4)板書事項と、大切な内容は、しっかりノートを取ること。
(5)わからないことがあれば、自分で十分に考えてから、先生のお許しを得て、授業中か放課後に、先生に質問。

Q 「復習」はどのように行くと「深い理解」を得ることができますか。

A (1)「復習」は、「深い理解」の第三歩です。
(2)その日やその週の授業で学んだ範囲を、「理解を深める」ために、もう一度、ゆっくり学び直す。これが「復習」です。

- (3)「学校教科書」「学校問題集」「授業プリント」「地図帳」「年表」「教材」「授業ノート」などを、机の上に置き、「授業」を思い出しながら、ゆっくり学び直す。
これが「復習」です。
- (4)「授業ノート」は、あとで学びやすいように、「ノート整理」。これも「復習」です。
- (5)先生の「授業」を思い出して、英語や国語、社会は、「学校教科書」や「授業ノート」「プリント」などを「声を出して、ゆっくり読む」と「深い理解」が得られます。
- (6)数学や理科は、一度解いた計算や問題を、ノートに書き直すことが「復習」です。
- (7)「復習」をしていて、よくわからないことがあったら、徹底的に調べる。どうしてもわからなかったら、学校や開倫塾の先生に質問する。これが、復習です。

Q 「予習」「授業」「復習」で「深い理解」、つまり、「学んだことを、自分のことばでいえる（表現・説明できる）」ようになるのですか。

- A (1)その通りです。
- (2)これに加えて、「定着（学んだことを身に着けること）」にもチャレンジしましょう。「定着」が、「深い理解」の第四步です。
- (3)「定着」で役に立つのは、「声を出して読む練習（音読練習）」です。スラスラよく読めるようになったら、
- (4)「何も見ないでいえる」ようになるまで「暗唱」の練習をいたしましょう。
- (5)「書き順も含め、正確に書けるようになる」まで、「書く練習」「書き取り練習」を繰り返す。そして「何も見ないで書けるまでにする」ことが大切です。これを「暗記」と言います。
- (6)「計算や問題」は、スラスラ答えが出てくるまで、何回も書き直す。これを、「計算・問題練習」と呼びます。
- (7)この定着のための 3 つの練習のことを「定着のための 3 大練習」と、私は、名付けました。
- (8)「**定着のための3大練習**」は「**不可能を可能にします**」。
- (9)例えば、「教科書をスミからスミまで覚えれば、定期テストで、全教科100点満点が取れます」。

Q 最後に一言どうぞ。

- (1)「予習」「授業」「復習」「定着のための 3 大練習」をしっかり行えば、「深い理解」「学んだことを、自分のことばでいう（表現・説明する）ことができる」ようになります。
- (2)「深い理解」、つまり、「学んだことを、自分のことばでいえる（表現できる・説明できる）」ようになるためには、「予習」「授業」「復習」「定着」はとても役立ちます。

(3)「学校教科書」と同様、この夏は「お盆特訓」を含め「開倫塾の夏期講習のテキスト」を用い、「予習」「授業」「復習」「定着」を図り、「深い理解」を目指してくださいね。素晴らしい成果が生まれますよ。

よろしくお願いいたします。お身体大切に。

2024 年 7 月 12 日（金）0：06